

一般社団法人日本疫学会 第5回定時社員総会 議事録

日時	2021(令和3)年 1月 28日 (木) 17:20-18:20
場所	Zoom webinar 於 第31回日本疫学会学術総会
社員総数	200名
出席社員数	174名(内 委任状提出者:67名)
出席理事	(順不同、敬称略) 祖父江友孝(議長)、玉腰暁子、三浦克之、栗山進一、曾根博仁、井上茂、井上真奈美、尾島俊之、若井建志、本庄かおり、安田誠史、金子聰、郡山千早、上原里程、片野田耕太、神田秀幸、関根道和、松尾恵太郎
出席監事	西信雄、横山徹爾

祖父江議長より、代議員 200 名のうち、出席代議員 107 名、委任状提出代議員 67 名で、過半数に達しており本社員総会が成立したことが報告された。また、議事録署名人として、栗山進一先生と関根道和先生が承認された。

1. 2020 年度事業について、議長から下記の報告があった。
  - 1) 学術総会の開催に関する事業（定款第 2 条 1 項）
    - ・ 第 30 回日本疫学会学術総会、第 27 回 JEA 疫学セミナー  
2020 年 2 月 20 日～22 日 京都（中山健夫会長）  
学術総会 1,145 名参加、JEA 疫学セミナー391 名参加
  - 2) 学会誌発行に関する事業（定款第 2 条 2 項）
    - ・ 会誌 Journal of Epidemiology Vol.29 (12) , Vol.30(1)～ (11) の刊行
    - ・ アクセプト版早期公開の定常化
  - 3) 情報の収集及び提供に関する事業（定款第 2 条 3 項）
    - ・ ニュースレター 第 55 号、第 56 号の刊行
    - ・ ホームページ（日・英）およびメールマガジン（疫学会通信等）による情報提供
    - ・ メディア連携、疫学リテラシーの普及促進についての検討
    - ・ 疫学リソース利用促進についての諸課題の検討
    - ・ 新型コロナウイルス関連情報特設サイトの開設・運営
    - ・ 厚生労働省等へ提案と要望書の提出
  - 4) 人材の教育、研修に関する事業（定款第 2 条 4 項）

- ・プレセミナー2020（3セミナー）の開催（2/20，合計 238 名参加）
  - ・サマーセミナー2020 は中止
- 5) 支援、交流に関する事業（定款第 2 条 5 項）
- ・疫学の未来を語る若手の会（若手の会の川合紗世 世話人代表幹事より報告があった。）  
若手の集い、合宿は中止
  - ・第 31 回学術総会トラベルグラントの募集中止
  - ・国際疫学会（IEA）との連携強化、2021 年に延期となった WCE（World Congress of Epidemiology）Travel Award の募集を保留中
  - ・他学協会との共催・連携企画によるシンポジウム等の開催
  - ・関連団体との連携（日本医学会、日本医学会連合、禁煙推進学術ネットワーク、日本人類遺伝学会、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会、社会医学系専門医協会等）
- 6) 資格の認定に関する事業（定款第 2 条 6 項）
- ・疫学専門家認定制度
    - 疫学専門家の申請受付、書類審査、筆記試験実施、合格発表
    - 上級疫学専門家（207 名）・疫学専門家（36 名）の認定（4/1）
    - 経過措置により上級疫学専門家・疫学専門家の同時申請受付
  - ・社会医学系専門医制度との連携
- 7) 表彰に関する事業（定款 2 条 7 項）
- 日本疫学会功労賞受賞者（敬称略）
- 中山 健夫（京都大学大学院医学研究科）
- 日本疫学会奨励賞受賞者（五十音順、敬称略）
- 尾瀬 功（愛知県がんセンター）
- 道川 武紘（東邦大学医学部）
- 優秀査読者賞受賞者（五十音順、敬称略）
- 王 超辰（愛知医科大学）
- 柿崎 真沙子（名古屋市立大学）
- 杉山 裕美（放射線影響研究所）
- Paper of the Year（敬称略）
- EPOCH-JAPAN 研究を代表して
- 寶澤 篤（東北大学メディカルメガバンク機構）
- 8) その他の関連する事業（定款第 2 条 8 項）
- ・多様性（ダイバーシティ）促進のため、会員情報更新の働きかけ、会員情報の分析
- 9) その他
- ・役員などの COI 自己申告書の収集・管理
  - ・各種規程整備

- ・ 名誉会員の推薦
  - ・ 会議等に関する事項
    - 第 4 回定時社員総会@京都大学百周年時計台記念館 (2/21)
    - 第 1 回理事会@京都大学医学部 (2/20)
    - 第 2 回理事会@Zoom 開催 (5/31)
    - 第 3 回理事会@Zoom 開催 (10/22)
2. 2020 年度決算書案について、北村事務局長より、貸借対照表、正味財産増減計算書および附属明細書に基づき、下記の報告があった。

2020 年度の資産合計は、62,916,275 円、負債合計は、3,298,144 円である。また、指定正味財産と一般正味財産を合わせた正味財産合計は 59,618,131 円で、負債及び正味財産合計は、62,916,275 円であった。

一般正味財産増減の部における経常増減の部について、2020 年度の経常収益は、受取会費 20,585,250 円、事業収益 27,786,524 円、受取補助金等 3,337,368 円等があり、経常収益計 51,711,183 円である。

経常費用は、事業費 30,429,182 円、委員会活動 1,712,851 円、学会事務局 9,702,330 円等があり、経常費用計 44,447,757 円で、当期経常増減額は 7,263,426 円であった。経常外増減の部については、一般正味財産期末残高が 57,496,453 円である。

指定正味財産増減の部において、日本学術振興会からの受取補助金等 3,800,006 円と一般正味財産への振替額マイナス 3,337,368 円により、指定正味財産期末残高は 2,121,678 円となり、正味財産期末残高は、59,618,131 円で、先ほどの貸借対照表の正味財産合計と一致する。なお、第 30 回学術総会の収益は 16,413,027 円、費用は 16,911,039 円で、準備金 150 万の残金約 100 万円は、国際化基金に組み入れた。

3. 2020 年度事業報告及びその附属明細書、理事の職務の執行、計算書類及びその附属明細書について、西信雄監事より監査報告があり、2020 年度決算書は承認された。
4. 2021 年度事業計画について、議長より下記の報告があった。
- 1) 第 31 回日本疫学会学術総会、第 28 回 JEA 疫学セミナーの開催
  - 2) 会誌 Journal of Epidemiology Vol.30(12), Vol.31(1)-(11)の刊行
  - 3) ニュースレター第 57、58 号の刊行、ホームページ（日・英）、メールマガジン（疫学会通信等）による情報提供、メディア連携・疫学リテラシー普及促進についての検討、疫学リソース利用促進についての諸課題の検討
  - 4) 第 2 回プレセミナー、第 10 回疫学サマーセミナー等の開催

- 5) 疫学の未来を語る若手の会集い等の開催、IEA-WP シンポジウムの開催、国際疫学会総会〈WCE2021〉トラベルアワードの募集・選考、第 32 回学術総会トラベルグラントの募集・選考、他学会との共催シンポジウム等の開催、関連団体との連携
- 6) 上級疫学専門家・疫学専門家の認定、社会医学系専門医協会の研修
- 7) 功労賞、奨励賞、優秀査読者賞、優秀論文賞の選考
- 8) 多様性（ダイバーシティー）促進についての検討
- 9) 代議員・選出理事・監事・理事長選挙の実施
- 10) 役員などの COI 自己申告書の収集・管理
- 11) 各種規程の整備
- 12) 名誉会員の推薦
- 13) 社員総会・理事会の開催

以上の事業計画については、理事会で承認された。

5. 2021 年度予算書について、北村事務局長より下記の報告があった。

事業活動収入については、会費支払い義務のある普通会员 2,000 人、代議員 195 人として、会費収入 2,034 万円が見込まれ、事業収入として上級疫学専門家の申請・登録料として 200 万円を見込んでいる。日本学術振興会からの補助金等を合わせて、事業活動収入計を 50,957,000 円として計上した。

事業活動支出については、事業費支出として、会誌発行費 451 万円、JE 編集委員会費 1,038 万円、総会準備費 150 万円、疫学の未来を語る若手の会 10 万円、学術総会 1,211 万円、セミナー実施費 110 万円、疫学専門家認定の費用として 200 万円を計上している。

賛助会費では、日本医学会年会費 14 万円、禁煙推進学術ネットワーク連絡協議会に 10 万円、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会に 2 万円をあわせて 26 万円計上した。

委員会活動では、2021 年 9 月に開催予定の国際疫学会総会(WCE2021)のトラベルアワード等の国際化推進費として 140 万円、ニュースレター作成費 24 万円、奨励賞・功労賞 7 万円、委員会開催費等 30 万円をあわせて 205 万円をを計上した。

理事会では、会議費 7 万円、交通費 55 万円を計上している。

学会事務局では、法定福利費 160 万円、人件費 808 万円、業務委託費 63 万円、会計監査費 40 万円をあわせて 1071 万円計上した。

その他、消費税 70 万円を含む管理費 236 万円、選挙費 26 万円、都民税 7 万円を計上し、事業活動支出計 48,040,000 円が見込まれ、事業活動収支差額は 2,917,000 円となる。

以上の予算書については、理事会で承認された。

6. 新名誉会員について、祖父江議長より、理事会で推薦された新名誉会員候補が紹介され、下記のとおり承認された。

新名誉会員（敬称略）

中川 秀昭（金沢医科大学名誉教授）

深尾 彰（山形大学名誉教授）

7. 役員人事について、祖父江議長より、第33回日本疫学会学術総会会長として、浜松医科大学の尾島俊之先生が推薦され、理事会で承認されたとの報告があった。

9. 庶務事項について、北村事務局長より、下記のとおり報告があった。

- 1) 会員数(2021年1月1日現在)

名誉会員：30名、代議員：200名、普通会員：2,247名（合計：2,477名）

※普通会員のうち、2020年度入会学生会員：98名

※1年間で、会員数47名増加

- 2) 年会費納入状況（2021年1月10日現在）

2020年度会費の納入義務のある会員：2,332名

2020年度までの会費納入完了者：2,034名（87%）

2年以上の滞納者：67名

- 3) 疫学会通信（2021年1月1日現在）

登録者数：2,453名（99%） 2020年発行回数：73回

10. 第32回学術総会会長の近藤克則先生（千葉大学／国立長寿医療研究センター）より、あいさつがあった。

11. 最後に祖父江理事長よりあいさつがあり、閉会となった。

以上